

「決算報告について」

財務理事 伊藤瑞男

去る5月24日に行われた東京神学大学評議員会・理事会において、2009年度の決算が承認されました。

当年度は学生数が少し増加したため、学生納付金の増加があり、国庫補助金は漸減でしたが、寄付金収入が約770万円増加しました。寄付金は、教会賛助金、後援会献金、基金献金により成っていますが、総額1億9千7百万円となりました。ネットの資金収入総額の50パーセントを越えました。これは、特筆すべきことで、諸教会、信徒の方々の祈りの結実であり、感謝のほかありません。

支出においては、前年度に続いて大きな出費がなく、プラス120万円の繰越消費支出超過額となりました。

しかし、当年度も施設・設備への支出を抑えたので、これらの修繕更新の必要性が高まっております。

現在、東神大に基金は約13億円あります。これの運用収入は1千5百万円でした。長期的には基金20億円を目指しています。

基金も大切ですが、教会がその通常の会計から神学校を支える教会賛助金の増加を特に願っています。

教会が神学生を送り出し、神学校を支えることができるために共に祈りたいと思います。